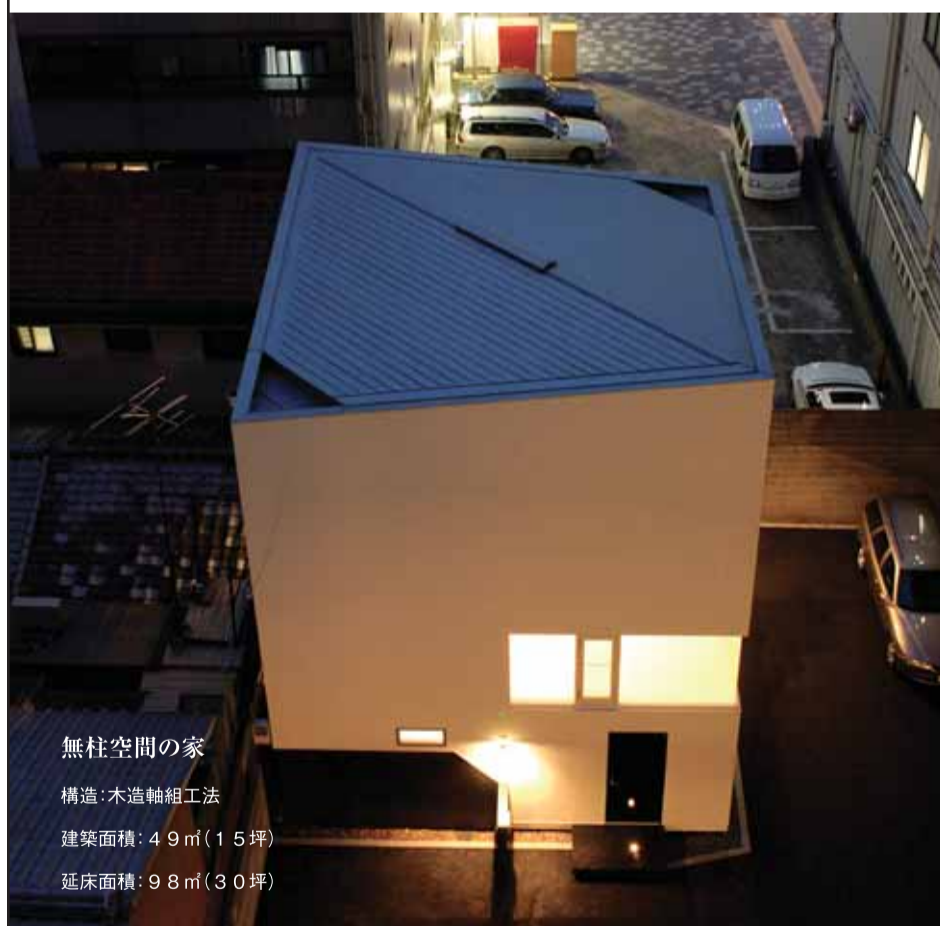


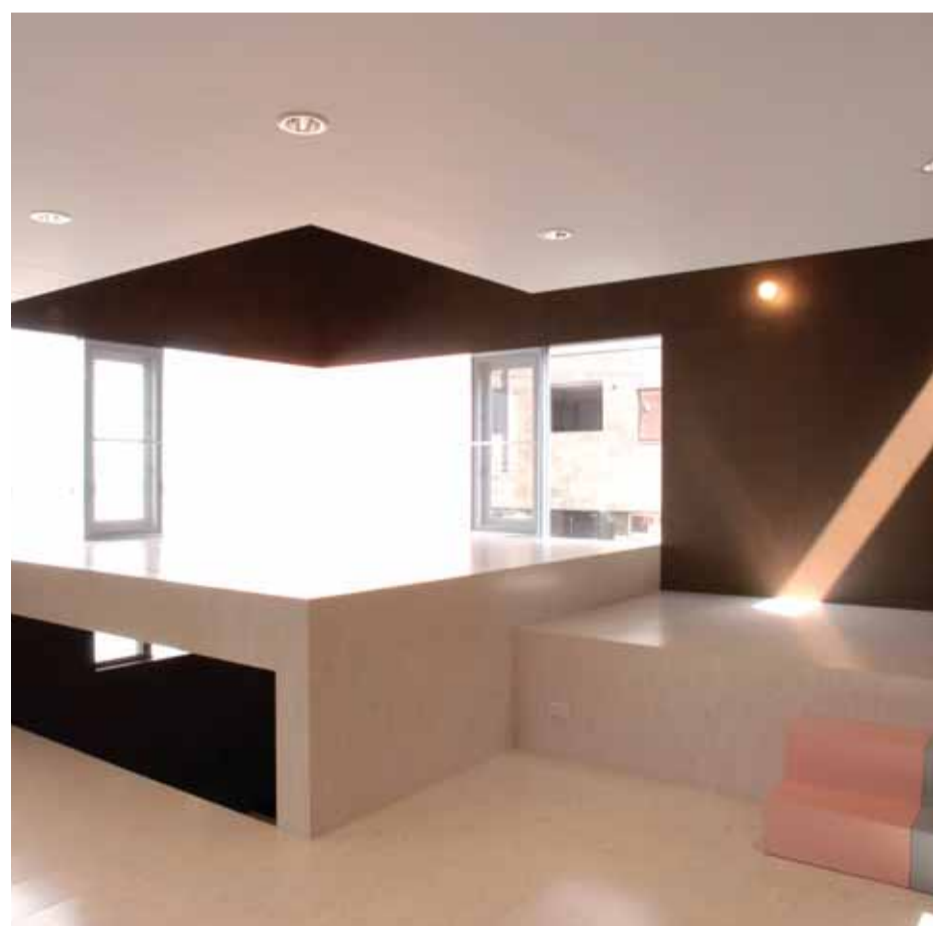


# まちなか住宅、木造の無柱空間。

支えているのは、ゼロの品質主義です。



無柱空間の家  
構造: 木造軸組工法  
建築面積: 49㎡ (15坪)  
延床面積: 98㎡ (30坪)



現場監督  
松井一明  
ゼロ・コーポレーション



建築家  
京都精華大学 特任講師  
片木孝治  
SALF-DESIGN 主宰  
http://salf-design.net  
info@salf-design.net

長年現場監督をやってきましたが、この建物の図面をいただいた時、難しさのあまり最初は理解ができませんでした(笑)。この建築の難しさは、特に「屋根」部分に象徴されます。組み方に随分悩みました。屋根部分が完成した時、これができるのだから、後はどんな難しいことでもできる、と思えたくらいです。非常によい経験となりました。

この住宅の設計は、定年後の人生を家で楽しく健康に過ごしたいという要望から始まりました。多人数を招く事が可能な無柱空間や着床のある寝室等、家全体の空間を立体的に構成する事で小さな家に広がりを生み出しました。注文住宅ならではのスキップフロアや屋根からの吊り構造等、高難易度の施工ができたのは、ゼロさんの熱意と技術力ですね。

「品質主義」を軸に、ゼロは次のステップへ。

ゼロの建築する多くの住宅は、現在も更新を続ける雨水の浸入0軒の記録に代表され、全物件において優れた建築性能を誇っています。しかしながら、これらの高度な技術や優れた性能は、一朝一夕で得られたものではありません。ゼロの社員をはじめとする、ゼロの建築に関わるすべてのスタッフが持つ多くの知識と技術、そして多大な努力を結集し、研究に研究を重ねながら、日々緊張感を持って常に万全を期してこそ、ゼロの「品質主義」は成立しているのです。

例えば、京都市中京区にて建築を請け負った「無柱空間の家」(写真)。この建物は、二階床を大屋根からの吊り構造で支持することで無柱の空間を一階に展開するという、木造軸組工法の常識を破る作品です。この住宅には、初めて出会う素材や新しい施工方法なども取り入れながら、非常に複雑な作業と高度な技術が必要となりました。完成した作品から読み取れるものは、確かな品質と技術、完成度の高さ。建築主が投げかけ、建築家がイメージしたのびやかな生活空間は、しっかりと実現されました。そして、この作品から新たに得た様々な知識や経験もまた、ゼロの「品質主義」を更に育んでいくのです。

これまで建売住宅を主として事業を展開してきたゼロが、そこで築き上げてきた揺ぎない「品質主義」。これを確固たる軸として、ゼロはそろそろ次の段階を迎えています。今後のゼロの建築にどうぞご期待ください。



# ゼロは品質主義。

## 支えているのは、公開です。



「ゼロの「品質主義」は、「公開」あればこそ。」

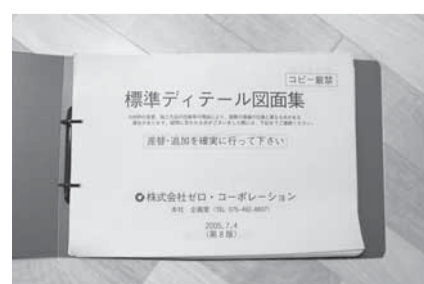
「公開」は、建築において欠陥のない高品質住宅をつくりあげるためのゼロの大切なコンセプトです。まず、現場には必ず大工と現場監督の写真を掲示し、現場に疑問があればいつでもダイレクトにご指摘をいただける体制を整えております。また、お客様にも建築詳細をご確認いただけるよう、従来は施工業者のツールであった「標準詳細図（標準ディテール図面集）」をお客様にもお渡ししております。これらの様々なツールにより、お客様ご自身の目で、ゼロの建物の健全性をご確認いただけます。

さらにゼロでは、お客様からのクレームの内容と対応についての記録を、ゼロの社内データよりそのまま転用し、ホームページに公開しております。お取引から3ヶ月後にご協力をお願いするゼロについての満足度アンケートの集計結果も、同じくホームページに掲載しております。

これらの「公開」は、ゼロの社員をはじめとするゼロの建築現場に関わるすべてのスタッフに厳しい緊張感を与え、お客様がいつ何時どこでご覧になろうとも恥ずかしくない現場づくり、品質づくりへの強い決意につながっています。ゼロの「品質主義」は、「公開」コンセプトに支えられているのです。



クレーム対応をウェブで公開



標準詳細図



工事担当者・責任者の紹介